

令和 8 年 6 月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和8年6月市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

はじめに、中東情勢をめぐる影響について、申し上げます。

去る2月28日の、アメリカ合衆国とイスラエル国によるイラン・イスラム共和国への軍事攻撃に端を発した紛争は、未だ収束に至らず、わが国をはじめ、世界各国の暮らしや経済に影響が生じております。

特に、ホルムズ海峡の事実上の封鎖により、石油や石油由来の製品の調達に不安が広がり、国内では流通の目詰まりによるとされる受注停止や納期の延長、価格の高騰などの事象が発生しております。

本市においても、塗料や防水シート、断熱材等に加え、ごみ袋やエンジンオイル、薬剤といった製品が入手しづらくなるなど、徐々に影響が広がってきていることから予断を許さない状況であると認識しており、今後の社会経済活動の動向を注視してまいりたいと考えております。

なお、国においては、中東情勢を受けた物価高への対応として、予備費を活用した家庭への電気・ガス料金の支援に加え、国民生活と経済活動に支障が生じないように取組を強化するために補正予算を編成され、先般、成立したところであります。

本市においても、昨今の物価高騰対策については、本年度の当初予算に生活者や事業者に対する支援策を盛り込んだところでありますが、今後、中東情勢の影響に関しましても必要な施策を講じてまいりたいと考えております。

次に、去る5月8日から16日にかけての、イタリア共和国及びスペイン王国訪問について申し上げます。

まず、9日と10日に、千年近くの歴史を誇るヴェネチアン・グラスの聖地、イタリア共和国のヴェネチアを訪問してまいりました。

ガラスの研究や作家、研究者を支援する施設「レ・ステンツェ・デル・ヴェトロ」において施設の責任者と面会し、今後の本市ガラス美術館での展示協力について快諾をいただいたほか、ガラス作家への支援策等、本市のガラスの街づくりに関する施策について意見交換を行うとともに、国際的な芸術祭「ヴェネチア・ビエンナーレ」を視察したところであり、街全体が芸術の薫りに満ち、活気に溢れている様子に深い感銘を受けました。

また、11日には、ピエモンテ州アスティにある、外国人のためのイタリア料理学校「イチフ」を、翌12日は、ミラノで世界最大級の食の展示会「トゥットフード」を視察し、本市の豊かな食文化の国際展開について大きな可能性を感じたところであります。

最終日の14日は、世界有数の「美食の街」として知られる、スペイン王国のサン・セバスティアン市の市長を表敬訪問し、食文化や観光、起業支援などの分野において協力関係を構築するとともに、同市内の公設市場において、富山の米を使用した握り寿司や日本酒を振る舞い、加えて工芸品の展示や観光プロモーションを行ってまいりました。

多くの方々に富山の食や工芸品などを紹介できたことは、今後の国際展開やインバウンドの誘致につながる大変有意義な機会となったと感じております。

なお、「イチフ」のピエロ・サッソーネ理事長をはじめ、この度の4都市訪問でご協力を賜りました関係各位に対し、改めて感謝申し上げます。

次に、人口減少対策について申し上げます。

本市の推計人口は、40万人割れが目前に迫っている状況にあります。

本市では、こうした人口減少社会を見据え、20年余りにわたって「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組んでまいりましたが、その結果、公共交通沿線には新たな住宅や商業施設が立ち並び、居住人口が増加するなど、都市の骨格ができつつあります。また、都市の総合力を高める様々な施策に取り組むことで、人

口減少が緩やかになるように努めてきたところであります。

しかしながら、数字が示す現実には衝撃を受けるとともに、少子化や若者を中心とした都市部への人口の流出に歯止めがかからないことに、改めて危機感を抱いているところであります。

こうした人口減少から生じる様々な地域課題の解決に向け、昨年5月に「人口減少・少子化対策庁内検討会議」を設置し、部局横断で取り組んできましたが、今後、さらに議論を深め、効果的な施策を講じることにより、人口減少社会にあっても活力に溢れる持続可能なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

また、来年度から10年間を計画期間とする、「第3次富山市総合計画」においても、人口減少による様々な課題を解決するための方向性を示し、本市が魅力ある都市として輝くとともに、多くの人それぞれに幸せを実感して、それを未来へと繋いでいくことを目指してまいります。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、4月4日に発生した強風の被害に関連する経

費や、国・県等の追加承認に伴うものなどの補正を行うものであり、一般会計では4億1,800万余円を追加するものであります。また、特別会計では、牛岳温泉スキー場事業において、100万余円、企業会計では、病院事業において、8,800万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①強風被害に関するもの)

まず、4月4日に発生した強風の被害に関連する経費につきましては、被害を受けた市有施設の復旧及び解体などに要する経費を計上しております。

(②国・県等の追加承認に伴うもの)

次に、国・県等の追加承認に伴うものとして、地区の集会施設の建設や、農業の経営改善に資する農業用機械の導入を支援する経費などを計上しております。

(③その他の事業)

その他の事業といたしましては、本市出身のプロバスケットボールプレーヤー「八村塁」選手の渡米後初の公式凱旋イベントや、東富山

温水プールの建て替えのための整備基本計画の策定、令和9年10月に予定する家庭ごみ有料化制度の導入に向け、市民への周知啓発に要する経費などを計上しております。

(④特別会計・企業会計)

特別会計では、牛岳温泉スキー場事業特別会計において、4月4日の強風で破損した、ペアリフト乗り場の屋根の復旧などに要する経費、企業会計では、病院事業会計において、陣痛室、分娩室、回復室が一体となったLDR室の整備費を増額する経費を計上しております。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源として、一般会計では、事業に伴う国・県支出金及び地方債、繰越金などを充てております。また、特別会計及び企業会計では、一般会計からの繰入金や企業債などを充てております。

次に、継続費及び債務負担行為について申し上げます。

まず、継続費については、一般会計において、旧八人町小学校・幼稚園解体工事について、病院事業会計では、市民病院LDR室整備事業費について、それぞれ変更を行うものであります。

債務負担行為については、家庭ごみ有料化制度の導入に向けた指定

収集袋の製造業務委託や、山田地区のスクールバス運行等に要する経費など4件について、それぞれ限度額を設定するものであります。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市職員定数条例の一部を改正する条例」を制定するものなど14件であります。

契約案件については、(仮称)月岡認定こども園新築主体工事の請負契約を締結するものなど8件であります。

その他の案件については、財産取得の件が1件であります。

承認案件については、専決処分について承認を求めるもの2件であります。

報告案件については、専決処分について3件、令和7年度の予算を翌年度に繰り越して執行することについて10件、債権放棄が1件、株式会社富山市民プラザなど、市の出資法人の経営状況についてが18件であります。

(令和7年度決算見込みについて)

なお、この機会に令和7年度の決算見込みについて、ご報告申し上げます。

各会計の決算については現在調製中ではありますが、一般会計の決算では、実質収支で剰余金が生じる見込みであります。

また、特別会計におきましても、若干の剰余金が生じる見込みであります。

企業会計におきましては、収益的収支では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業では利益が生じる見込みであります。病院事業では損失が生じる見込みであります。

また、資本的収支では、全ての企業会計において資金不足が見込まれますが、これについては、内部留保資金などで補填することとしております。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますよう、お願い申し上げます。